西東京市立青嵐中学校 | Seiran Junior High School Library

青嵐中ライブラリー

10月号
令和8年10月28日
学校司書

秋の読書週間、始まりました。10/27(火)～11/9(月)

第80回標語は

静かだけど、冒険中。



今月のテーマ：詩の世界を楽しもう　「四季の歌」に、～秋を愛する人は心深き人　愛を語るハイネのようなぼくの恋人～の歌詞がありますね。ハイネは、ドイツの詩人で抒情詩人として有名です。「ローレライ」（近藤朔風　訳詞）も明治時代から愛唱歌として親しまれてきました。（ローレライは伝説の水の精の意味）

茨木のり子

茨木のり子 著　高橋順子 選・鑑賞解説　小学館（永遠の詩02）



keyword | 詩 × 勇気 × 言葉

茨木のり子さんは、西東京市東伏見に48年間お住まいでした。「わたしが一番きれいだったとき」「自分の感受性くらい」「落ちこぼれ」など自分と他人を励ます作品があります。声に出して楽しみましょう。

ホメーロスのオデュッセイア物語 上下

バーバラ・レオニ・ピカード作　高杉一郎 訳　岩波書店



keyword | 冒険 × ギリシア神話 × 戦争

長編叙事詩を散文の物語にしたもの。トロイ戦争後の王オデュセイウスの波乱万丈の冒険。自分を死んだものとして、妻に無礼な求婚者たちへの復しゅうを描く。

答えは本の中に隠れている

岩波ジュニア新書編集部編　岩波書店（岩波ジュニア新書）



keyword | 読書 × 部活 × 悩み相談

「毎日、楽しく生きたい！」
「好きなことだけしたい！」
十代に寄り添う12のテーマに、迷ったときや立ち止まった時のヒントになる本。

ビルマの竪琴

竹山道雄 作　新潮社（新潮文庫）



keyword | 戦争 × 合唱 × 竪琴

水島上等兵は合唱の伴奏で竪琴を巧みに奏でていた。隊長が音楽学校出で、隊ではよく合唱を歌っていた。敵に囲まれ「庭の千草」「はにゅうの宿」を歌い、いよいよ突撃という時、敵の方からも英語の原曲の歌声が聞こえてきて大合唱となり、戦闘はなくなり停戦になったことを知った。

自分の感受性くらい

ばさばさに乾いてゆく心を
ひとのせいにはするな
みずから水やりを怠っておいて

気難しくなってきたのを
友人のせいにはするな
しなやかさを失ったのはどちらなのか

苛立(いらだ)つのを
近親のせいにはするな
なにもかも下手だったのはわたくし

初心消えかかるのを
暮しのせいにはするな

そもそもが　ひよわな志にすぎなかった

駄目なことの一切を
時代のせいにはするな
わずかに光る尊厳の放棄

自分の感受性くらい
自分で守れ
ばかものよ

出典：『茨木のり子　永遠の詩02』
小学館・二〇〇九年　茨木のり子 著
高橋順子 選・鑑賞解説
天野祐吉 エッセイ